

茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標設定調書

担当部・課名 知事直轄・政策審議室

1 総合戦略における位置付け

基本目標	1 「新しい豊かさ」へのチャレンジ
------	-------------------

2 数値目標

数値目標名	雇用創出数 ^{拡充}	
現状値・ 目標値	現状値	H27～28 累計：5,163 人
	目標値	H27～31 累計：13,000 人，10 年後（H29～38）累計：30,000 人
現行戦略	目標値	H27～31 累計：10,000 人

3 数値目標の内訳

[単位]	基準値	H27	H28	H29	H30	目標値	目標値
人	H27～28 累計					H27～31 累計	10 年後 (H29～38 累計)
期待値	-	-	-	-	3,000	13,000	30,000
実績値	5,163	2,748	2,415	-	-	-	-

数値目標の設定根拠

設定の考え方	県民が豊かさを実感できるようにするためには，新産業の創出や本県への本社機能の移転などによる雇用の場の確保が重要であるため設定。
算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ H27～28 累計で 5,163 人（2,581 人/年）のため，H29～31 で 3,000 人/年，H27～31 累計で 13,000 人の雇用創出を見込む。 ・ 単年度の増について同規模を維持し，10 年後累計で 30,000 人を見込む。

4 関連 K P I

本社機能移転等を伴う新規立地による雇用機会の創出	上方修正	H26：- 件 H27～H31：1,280 人
--------------------------	------	-------------------------

5 関連事業等

<p>国内外の企業，研究施設等の誘致，本社機能の誘致，ベンチャー創出等により雇用を創出</p> <p>企業誘致による雇用増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規立地企業における追加従業員数（地元雇用分）：7,900 人 <p>本社機能移転等による雇用増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本社機能移転等を伴う新規立地による雇用増加数：1,280 人 <p>起業による雇用増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ベンチャー企業数の増加に伴う雇用増加数：350 人 <p>観光消費額増に伴う雇用創出効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光消費額の増加による経済波及効果としての雇用増加数：2,500 人 <p>新規就農者等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規就農者のうち，親元就農を除く人数等：970 人
--

茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標設定調査

担当部・課名 知事直轄・政策審議室

1 総合戦略における位置付け

基本目標	1 「新しい豊かさ」へのチャレンジ
------	-------------------

2 数値目標

数値目標名	人口の社会移動数 ^{〔拡充〕}	
現状値・	現状値	H27～29 累計：+40 人
目標値	目標値	H27～31 累計：+4,000 人，10 年後(H27～H38 累計)：+22,000 人
現行戦略	目標値	H27～31 の5 年間の転入転出者数を均衡

3 数値目標の内訳

[単位]	基準値					目標値	目標値
人	H27～29 累計	H27	H28	H29	H30	H27～31 累計	10 年後 (H27～H38 累計)
期待値	-	-	-	-	2,000	4,000	22,000
実績値	40	2,394	391	2,043 速報値	-	-	-

数値目標の設定根拠

設定の考え方	人口の減少を食い止めうえで，社会減対策が喫緊の課題であることから，人口の社会移動数を目標項目として設定。
算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ・H29 単年度で約 2,000 人増のため，H30，H31 の社会増についても同規模を維持するとして，H27～H31 累計で 4,000 人の社会増を目指す。 ・以降，H36 まで毎年 2,500 人程度の増，H37，H38 の2 年間は単年度で 3,000 人程度の増を見込み，10 年後累計で 22,000 人の増を見込む。

4 関連 K P I

本社機能移転等を伴う新規立地による雇用機会の創出	上方修正	H26：- 件	H27～H31：1,280 人
ベンチャー企業数	継続	H26：371 社	H31：500 社
ふるさと県民登録者数	上方修正	H26：- 人	H27～H31：5,000 人

5 関連事業等

<p>企業誘致活動強化事業 ^{〔拡充〕}</p> <p>本社機能移転誘致に向けた各種事業の実施</p> <p>第2のふるさと・いばらきプロジェクト推進事業 ^{〔拡充〕}</p> <p>市町村や関係団体と連携し，本県の住みやすさを移住希望者に P R するとともに，移住受入体制の構築を図り，本県への移住二地域居住を推進</p>

茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標設定調書

担当部・課名 農林水産部・農業政策課

1 総合戦略における位置付け

基本目標	1 「新しい豊かさ」へのチャレンジ
------	-------------------

2 数値目標

数値目標名	生産農業所得（販売農家1戸あたり） 新規	
現状値・ 目標値	現状値	H26：230万円
	目標値	H31：400万円，10年後（H38）：950万円
現行戦略	目標値	-

3 数値目標の内訳

[単位]	基準値					目標値	目標値
万円	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H38
期待値	-	-	-	-	355	400	950
実績値	230	280	373	-	-	-	-

数値目標の設定根拠

設定の考え方	農家1戸あたりの所得を向上させ、本県の「儲かる農業」を実現させるため、生産農業所得を設定した。
算出方法	・H28年の所得率を踏まえ、現行戦略策定時から10年後のH38年の目標所得率を45%に設定し、販売農家数の推計値を基に、H31年及び10年後（H38年）の販売農家1戸あたりの生産農業所得を算出

4 関連KPI

6次産業化関連事業の年間販売額	上方修正	H28：47.7億円 H31：61.8億円（現行：46.8億円）
本県農林水産物の輸出金額	上方修正	H25：411億円 H31：519億円（現行：463億円）

5 関連事業等

<p>儲かる農業ステップアップ事業 新規</p> <p>○儲かる農業の実現に向けてチャレンジする意欲ある経営体の創意工夫ある新たな取組の支援</p> <p>6次産業化総合対策事業費 拡充</p> <p>○付加価値向上に向けた、商品開発・販路開拓等への相談や指導，産地と大手食品企業とのマッチングの推進</p> <p>いばらき農産物等輸出拡大事業 拡充</p> <p>○農産物の輸出拡大に向けた、販売現場からのニーズ対応と販路開拓の取組強化</p>
--

茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標設定調書

担当部・課名 保健福祉部医療人材課

1 総合戦略における位置付け

基本目標	「新しい安心安全」へのチャレンジ
------	------------------

2 数値目標

数値目標名	医師数	新規
現状値・ 目標値	現状値	H26 : 5,188 人
	目標値	H31 : 6,000 人 , 10 年後 (H38) : 7,200 人
現行戦略	目標値	-

3 数値目標の内訳

[単位]	基準値					目標値	目標値
人	H26	H27	H28	H29	H30	H31	10 年後 (H38)
期待値	-	-	-	-	5,800	6,000	7,200
実績値	5,188	-	5,513	-	-	-	-

数値目標の設定根拠

設定の 考え方	医療は県民が安心して暮らす上で基本となる重要な社会基盤であり、特に医師の確保は重要課題であることから設定した。
算出 方法	<ul style="list-style-type: none"> 医学部定員増などにより、2年ごとに3.4%の自然増を見込むとともに、修学資金貸与制度による県内勤務医師数の増を見込む。 県内の研修や勤務環境の整備により、県外から毎年18人の流入・定着があると見込む。 医科大学との新たな関係構築や本県ゆかりの県外勤務医師のUIJターン促進などH30以降に新しく取り組む施策により、毎年50人の医師を確保。

4 関連KPI

初期臨床研修医マッチング者数	新設	H26 : 126 人	H31 : 171 人
専門研修プログラム採用者数	新設	H26 : 95 人	H31 : 131 人

5 関連事業等

医師修学資金貸与事業（一般，地域枠，海外）	継続
○医師の養成	
県地域医療支援センターの体制強化	継続
○修学生医師など若手医師のキャリア形成支援	
県外からの医師確保強化事業(医科大学との新たな協力関係構築等)	新規
○地域医療の拠点となる政策医療を担う医療機関，診療科の医師確保	

茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標設定調書

担当部・課名 保健福祉部・保健予防課

1 総合戦略における位置付け

基本目標	2「新しい安心安全」へのチャレンジ
------	-------------------

2 数値目標

数値目標名	健康寿命 新規	
現状値・目標値	現状値	H22(基準値): 男性 71.32 年, 女性 74.62 年
	目標値	H31: 男性 72.58 年, 女性 75.88 年, 10 年後(H38): 男女とも全国 1 位
現行戦略	目標値	-

3 数値目標の内訳

[単位]	基準値 H22	H25	H28	H29	H30	目標値 H31	目標値 10 年後(H38)
期待値	-	-	男: 72.16 年 女: 75.46 年 *H30 公表予定	-	-	男: 72.58 年 女: 75.88 年 *H33 公表予定	男女とも 全国 1 位
実績値	男: 71.32 年 (4 位) 女: 74.62 年 (7 位)	男: 71.66 年 (11 位) 女: 75.26 年 (6 位)	-	-	-	-	-

数値目標の設定根拠

設定の考え方	高齢化が進行する中であって、県民が健康でいきいきと生活し、活躍できる期間を延ばしていくため、健康寿命を設定した。
算出方法	<p>H31 の目標を男性: 72.58 年, 女性: 75.88 年と設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年(H22) ~ 2020 年(H32) の 10 年間・・・0.14 年×年数 ・ 2021 年(H33) ~ 2023 年(H35) の 3 年間・・・0.2 年×年数 とし、 <p>男性: 71.32 年(H22) + 0.14 × 9 年 = 72.58 年(H31) 女性: 74.62 年(H22) + 0.14 × 9 年 = 75.88 年(H31)</p> <p>H29.6.9 に閣議決定の「未来投資戦略 2017」の 2020 年までに 1 年以上延伸し、2025 年までに 2 年以上延伸(2010 年基準)に基づき、更に積極的な目標にするため、国より 2 年早く 2 年以上延伸に設定。</p> <p>県民の健康に対する意識を高め、10 年後に男女とも全国 1 位となることを目標とする。(H25 の全国 1 位 山梨県 男性: 72.52 年, 女性: 75.78 年)</p>

4 関連 K P I

特定保健指導対象者の割合(40~74 歳)	新設	H26: 25.5% H31: 23.3%
-----------------------	----	-----------------------

5 関連事業等

<p>いばらき健康寿命日本一プロジェクト推進費 新規</p> <p>民間団体, 医療保険者, 行政等の連携事業を促進し, 県民総ぐるみの健康づくりを推進</p> <p>健康いばらき 21 推進事業費 継続</p> <p>生涯にわたる県民の健康づくりの推進</p> <p>介護予防総合支援事業費 継続</p> <p>高齢者の体力保持・増進, 介護予防対策</p>

茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標設定調書

担当部・課名 教育庁義務教育課, 高校教育課

1 総合戦略における位置付け

基本目標	3 「新しい人財育成」へのチャレンジ
------	--------------------

2 数値目標

数値目標名	生徒の英語力（英語教育実施状況調査の英検取得又は相当の割合） 新規	
現状値・ 目標値	現状値	H26：中学生（英検3級）38.6%，高校生（英検準2級）27.1%
	目標値	H31：中学生（英検3級）54.0%，10年後（H38）：70.0% H31：高校生（英検準2級）50.0%，10年後（H38）：70.0%
現行戦略	目標値	

3 数値目標の内訳

区分	[単位] %	基準値					目標値	
		H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 10年後(H38)
中学	期待値	-	-	-	-	47.6	54.0	70.0
	実績値	38.6	39.8	35.0	-	-	-	-
高校	期待値	-	-	-	-	43.9	50.0	70.0
	実績値	27.1	27.2	31.9	-	-	-	-

数値目標の設定根拠

設定の考え方	本県の将来を託す子どもたちが，未来を切り拓く「人財」として活躍していくことが重要であるから設定した。
算出方法	・中学生は，国の指標であるH33の60%をH32に達成するため，H31の目標を54%と設定。 ・高校生は，国の数値目標では，H29までの目標を50.0%に設定しているため，H28以降，毎年6.0%の増加を目指し，H31の目標を50.0%と設定。

4 関連KPI

英検準1級以上等を取得している教員の割合（公立中学校・県立高等学校）	新設	（公立中学校）H26：20.7% H31：40.0% （県立高等学校）H23：57.9% H31：62.2%
------------------------------------	----	---

5 関連事業等

<p>中学校英語力向上事業 継続</p> <p>英語力アップサポート（対象：全公立中学校2年生）</p> <p>英語力アップチャレンジ（対象：全公立中学校英語教員（150人/年））</p> <p>ディベート指導法研修（高校） 継続</p> <p>ディベート活動を取り入れた授業改善の研修実施</p> <p>外国語指導助手招致事業（高校） 継続</p> <p>外国語指導助手招致による生徒の実践的な英語力向上の促進</p>

茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標設定調書

担当部・課名 教育庁高校教育課

1 総合戦略における位置付け

基本目標	3 「新しい人材育成」へのチャレンジ
------	--------------------

2 数値目標

数値目標名	全国レベルのプログラミング・コンテスト（中高生向け）の入賞組数 ^{新規}	
現状値・ 目標値	現状値	H28：1組
	目標値	H31：4組，10年後（H38）：8組
現行戦略	目標値	-

3 数値目標の内訳

[単位] 組	H26	H27	基準値 H28	H29	H30	目標値 H31	目標値 10年後(H38)
期待値	-	-	-	-	3	4	8
実績値	0	0	1	-	-	-	-

数値目標の設定根拠

設定の考え方	本県の将来を託す子どもたちが，未来を切り拓く「人財」として活躍していくことが重要であることから設定した。
算出方法	<ul style="list-style-type: none"> 対象となるプログラミング・コンテスト 全国高校生プログラミング・コンテスト（全国情報技術教育研究会） 全国高等学校ロボット競技大会（産業教育振興会中央会） World Robot Olympiad（NPO法人WRO Japan） 全商プログラミング・コンテスト（全国商業高等学校協会） 入賞するプログラミング・コンテストを毎年1つずつ増やし，平成31年度に全てのコンテストに入賞する。 10年後までに対象となる全国レベルのプログラミング・コンテスト（中高生向け）を2倍に拡大し，それぞれに入賞する。

4 関連KPI

先進的国際・理数教育への取組を進めた県内私立学校数	継続	H26：-校	H31：15校
---------------------------	----	--------	---------

5 関連事業等

<p>プログラミング・エキスパート育成事業^{新規}</p> <p>プログラミングに関する専門的なトレーニングの実施</p> <p>未来の科学者育成プロジェクト事業「科学系コンテスト参加者強化トレーニング」（H22～）^{拡充}</p> <p>情報オリンピック参加者に向けたプログラミング等講習会に参加</p>

茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標設定調書

担当部・課名 保健福祉部少子化対策課

1 総合戦略における位置付け

基本目標	「新しい人財育成」へのチャレンジ
------	------------------

2 数値目標

数値目標名	理想の子どもの数と実際の子どもの数の差 新規	
現状値・ 目標値	現状値	H26：0.54人
	目標値	H31：現状より減少，10年後（H38）：H31より減少
現行戦略	目標値	-

3 数値目標の内訳

[単位] 人	基準値 H26	H27	H28	H29	H30	目標値 H31	目標値 10年後（H38）
期待値	-	-	-	-	-	現状より減少	H31より減少
実績値	0.54	-	-	-	-	-	-

数値目標の設定根拠

設定の考え方	結婚や出産の希望をかなえるための様々な取組を推進することで減少が図られるため設定。
算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ・H26 茨城県男女共同参画社会県民意識調査において理想とする子どもの数2.47人と実際の子どもの数1.93人の差が0.54人であったことから、H31に実施予定の同調査においてこの差を減少させる。 ・10年後のH38には、H31時点の差をさらに減少させる。

4 関連KPI

いばらき出会いサポートセンター利用者等の成婚数	継続	H26：1,366組 H31：2,500組
県政世論調査「理想の子どもの数を持たない理由」について「子育てのための経済的負担が大きいため」と回答した者の割合	継続	H26：54.4% H31：54.4%以下

5 関連事業等

<p>いばらき出会いサポートセンター推進事業 継続</p> <p>○結婚を希望する独身者に対し出会いの場を提供する「いばらき出会いサポートセンター」への運営負担金</p> <p>不妊治療費助成事業 継続</p> <p>○保険外診療で治療費が高額となる特定不妊治療（体外受精・顕微授精）及び男性不妊治療に対する助成</p> <p>小児医療費助成事業 拡充</p> <p>○小児が必要とする医療を安心して受けられるよう、医療費の負担を公費で助成</p>
--

茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標設定調書

担当部・課名 保健福祉部子ども家庭課

1 総合戦略における位置付け

基本目標	「新しい人財育成」へのチャレンジ
------	------------------

2 数値目標

数値目標名	保育所等の待機児童数 継続	
現状値・ 目標値	現状値	H28 (H29 当初): 516 人
	目標値	H31 (H32 当初): 0 人, 10 年後(H38): 0 人 (待機児童ゼロを維持)
現行戦略	目標値	H31: 0 人

3 数値目標の内訳

[単位]			基準値				目標値	目標値
人	H26	H27	H28	H29	H30	H31	10 年後(H38)	
期待値	-	-	-	-	172	0	0	
実績値	373	382	516	-	-	-	-	

数値目標の設定根拠

設定の考え方	人口減少を食い止めるためには自然減対策が重要であるが、特に子育て支援の充実が重要課題であるため。
算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ・現状値 (516 人) を H31 までの 3 年間でゼロとする目標設定 ・516 人 (現状: H28) / 3 年 (H29 ~ H31) = 172 人年度ずつ縮減 ・10 年後(H38)においても待機児童ゼロを維持

4 関連 K P I

キャリアアップ研修延べ受講者数	新設	H29: 1,820 人	H31: 3,000 人
-----------------	----	--------------	--------------

5 関連事業等

<p>安心こども支援事業 継続</p> <p>保育所等の整備に対する支援</p> <p>家庭的保育事業促進事業 新規</p> <p>家庭的保育事業者 (保育ママ) への支援</p> <p>いばらき保育人材バンク設置運営事業 新規</p> <p>「いばらき保育人材バンク」の運営委託</p> <p>保育士等キャリアアップ研修 継続</p> <p>保育士のキャリアパス構築, 資質向上, 処遇改善のための研修</p>
--

茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標設定調書

担当部・課名 知事直轄・政策審議室

1 総合戦略における位置付け

基本目標	「新しい夢・希望」へのチャレンジ
------	------------------

2 数値目標

数値目標名	住みよさランキング 100 位以内の市数全国順位 新規	
現状値・ 目標値	現状値	H29：全国 5 位（6 市）
	目標値	H31：現状より上位，10 年後（H38）：全国 1 位
現行戦略	目標値	-

3 数値目標の内訳

[単位] 位	H26	H27	H28	基準値 H29	H30	目標値 H31	目標値 10 年後(H38)
期待値	-	-	-	-	-	現状より上位	全国 1 位
実績値	-	-	-	5 位	-	-	-

数値目標の設定根拠

設定の考え方	地方創生の取組を推進し，本県を将来にわたって夢や希望を描ける県としていくため設定。
算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 は，守谷市，つくば市，神栖市など 6 市が 100 位以内となり，全国 5 位。全国 1 位は富山県（9 市） ・ 総合戦略に基づく取組を推進することにより，ランキング算出の基礎となる安心度（保育施設定員数等），利便度（小売業年間商品販売額），快適度（転入・転出人口比率等），富裕度等における指標値の向上を図り，H31 に現状より上位，H38 に全国 1 位を目指す。

4 関連 K P I

待機児童数	継続	H28：516 人 H31：0 人
サービス業年間生産額	継続	H26：19,780 億円 H31：22,494 億円
観光消費額	上方修正	H26：2,260 億円 H31：3,457 億円（現行：3,143 億円）
生産農業所得（販売農家 1 戸あたり）	新設	H26：230 万円 H31：400 万円

5 関連事業等

安心子ども支援事業 継続
いばらき保育人材バンク設置運営事業 新規
働き方改革・生産性向上促進事業 新規
企業誘致活動強化事業 拡充
第 2 のふるさと・いばらきプロジェクト推進事業 拡充
D M O 観光地域づくり推進事業 拡充
ビジット茨城・海外誘客プロモーション事業 新規
儲かる産地支援事業 新規
6 次産業化総合対策事業 拡充

茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標設定調書

担当部・課名 商工労働観光部 観光物産課

1 総合戦略における位置付け

基本目標	「新しい夢・希望」へのチャレンジ
------	------------------

2 数値目標

数値目標名	観光消費額 拡充	
現状値・	現状値	H26：2,260 億円
目標値	目標値	H31：3,457 億円，10 年後（H38）：5,200 億円
現行戦略	目標値	H31：3,143 億円

3 数値目標の内訳

[単位]	基準値					目標値	目標値
億円	H26	H27	H28	H29	H30	H31	10 年後(H38)
期待値	-	-	-	-	3,215	3,457	5,200
実績値	2,260	2,695	2,731	-	-	-	-

数値目標の設定根拠

設定の考え方	本県の魅力度向上や新たな観光創生を目指すとともに、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて外国人観光客の増加を図るため設定。
算出方法	<ul style="list-style-type: none"> 直近 2 年(H26：2,260 億円 H28:2,731 億円)で約 500 億円増加しているため、今後 4 年間で約 1,000 億円(H32:3,700 億円)の増加を目指す。(総合戦略においては、H32 年目標値から隔年均等割り戻しをした数値を目標とする。) 同規模の増(2 年で約 500 億円)を維持し、10 年後(H38)に 5,200 億円を目指す。 H28 年観光消費額で全国 8 位の兵庫県(H30.1 現在)と同程度。

4 関連 K P I

観光地点等入込客数(延べ人数)	上方修正	H26：5,075 万人 H31：7,695 万人(現行：6,100 万人)
宿泊観光入込客数(実人数)	上方修正	H26：462 万人 H31：746 万人(現行：669 万人)

5 関連事業等

<p>DMO 観光地域づくり推進事業 拡充</p> <p>○ DMO の形成・確立に向けた人材の確保等や、魅力ある観光地域づくり、国内誘客促進、稼げる観光産業の振興等に取り組む。</p> <p>ビジット茨城・海外誘客プロモーション事業 新規</p> <p>外国人観光客の誘客促進を図るため、P R ・情報発信や旅行商品造成促進、受入体制整備促進に取り組む。</p>
--